

専門科目の特徴

【管理栄養学科】

専門科目	特徴
健康管理学	学校、病院、健康増進施設あるいは福祉施設などの幅広い分野において活用できる健康の概念、健康の現状、健康増進づくりに関する知識を身につける。
栄養教育論	乳幼児から高齢者にいたる各ライフステージ、ライフスタイルに応じ、また、臨床の場に応じ、それぞれの栄養教育プログラムの作成・実施・評価、栄養状態、食行動、食生活環境などに関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。
栄養治療学	経口栄養摂取と補給方法として、約束食事箋や一般治療食（流動食、軟食、常食）、特別治療食（糖尿病食、腎臓病食、脂質異常症食など）、について理解する。また、経腸栄養剤と経管栄養法、経静脈栄養剤と経静脈栄養法について、それぞれの適応、禁忌、種類、処方、方法、効果を理解する。
臨床栄養活動論	身体計測による栄養状態の評価・判定や適切な栄養補給法、ベッドサイドを含む栄養教育について、また、栄養ケア・マネジメントのための基礎知識をはじめ、各種症例（病態、検査、投薬、栄養管理）による栄養ケア・マネジメントの実際やその応用、栄養ケア記録のあり方、医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について学ぶ。
生理検査学	生理検査は生体からの様々な情報を直接記録・解析する検査であり、循環生理検査・呼吸生理検査・神経生理検査・超音波検査などの多種多様な項目が含まれる。本講義では、上記の各検査項目を中心とした多岐にわたる生理検査に関する理解・方法・評価・病態との関連について解説する。
臨床化学検査学 I	臨床化学検査は様々な化学的手法を駆使して生体試料を分析することにより、病態診断や治療効果判定などにおいて重要な役割を担っている。臨床化学検査学 I では、生物化学分析の基礎として主要な生体成分の構成やその代謝ならびに分析技術の原理・方法・評価・病態との関連について学習する。
一般検査学実習	一般検査は各種専門検査の前にスクリーニング的に行う検査であり、尿・糞便・髄液・喀痰・穿刺液などを対象とした定性および半定量検査、尿沈渣などの細胞学的検査が含まれる。本実習では、主に尿・糞便・髄液を対象とした簡易検査を実際に行い、各種検査の原理・方法・評価・臨床的意義などを習得する。

専門科目	特徴
病理検査学実習 I	病理組織標本の作製に必要な手技や方法を習得するとともに、様々な病変の観察に適した染色法の原理や特徴を理解する。さらに、作製した標本を顕微鏡で観察することにより、染色結果および病理組織学的所見について理解する。